

産業廃棄物処理計画書

令和2年6月22日

（宛先）奈良市長



提出者

住所 大阪市中央区南船場一丁目14番10号

氏名 大成建設株式会社 関西支店  
常務執行役員支店長 加賀田 健司  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6265-4610

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良市産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5条の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、この書面を添えて提出します。

事業場の名称	大成建設株式会社 関西支店
事業場の所在地	大阪市中央区南船場一丁目14番10号
計画期間	令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	日本標準産業分類の区分 06 総合工事業
② 事業の規模	製造品等出荷額、元請完成工事高、病床数 等 ( ) 年度 13020000 万円 病床
③ 従業員数	1012 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

【別紙】産業廃棄物処理計画書

実施状況報告年度	令和元年度	報告担当者名	大成建設株式会社 関西支店	報告担当所属部署	
計画書作成年度	令和2年度	報告担当者名	諏訪義知	電話番号(直通)	06-6265-4610

番号	産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出の削減に関する事項(第2面)		自らの産業廃棄物の再資源利用に関する事項(第3面)	自らの産業廃棄物の回収を行った産業廃棄物の量	自らの産業廃棄物の中間処理に関する事項(第4面)	自らの産業廃棄物の再資源利用又は再投入処分に関する事項(第4面)	産業廃棄物の処理の委託に関する事項(第4面～第5面)				認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		実績値	目標値					自らの回収を行った産業廃棄物の量	自らの中間処理により減量した産業廃棄物の量	他業者への処理委託量<自動計算>	特定認定処理業者への処理委託量		再資源利用業者(産業廃棄物)への処理委託量
(1)	汚泥	実績	2						2	0	2	0	0
		目標	1						1	0	1	0	0
(2)	廃アルカリ	実績	0.7						0.7	0.7	0.7	0	0
		目標	0.4						0.4	0.4	0.4	0	0
(3)	プラスチック類	実績	34.9						34.9	32.1	34.9	0	0
		目標	17.5						17.5	16.1	17.5	0	0
(4)	紙くず	実績	0.1						0.1	0.1	0.1	0	0
		目標	0.1						0.1	0.1	0.1	0	0
(5)	木くず	実績	32.7						32.7	32.7	32.7	0	0
		目標	16.4						16.4	16.4	16.4	0	0
(6)	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	実績	254.6						254.6	250.4	254.6	0	0
		目標	127.4						127.4	125.3	127.4	0	0
(7)	がれき類	実績	765						765	424	765	0	0
		目標	382.5						382.5	212	382.5	0	0
(8)	建設系混合廃棄物	実績	335.4						335.4	335.4	335.4	0	0
		目標	167.7						167.7	167.7	167.7	0	0
(9)		実績							0				
		目標							0				
(10)		実績							0				
		目標							0				

単位:t



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和元年度）実績】 (1)～(4)以外は別紙のとおり				
	産業廃棄物の種類	(1)	汚泥	(2)	廃アルカリ
① 現状	排出量	2 t		0.7 t	
	産業廃棄物の種類	(3)	廃プラスチック類	(4)	紙くず
	排出量	34.9 t		0.1 t	
	(これまでに実施した取組)				
<ul style="list-style-type: none"><li>・PC工法の採用</li><li>・梱包材の簡素化</li><li>・余剰材の引き取り</li><li>・ユニット化持込</li><li>・廃棄物の圧縮</li></ul>					
② 計画	【目標】 (1)～(4)以外は別紙のとおり				
	産業廃棄物の種類	(1)	汚泥	(2)	廃アルカリ
	排出量	1 t		0.4 t	
	産業廃棄物の種類	(3)	廃プラスチック類	(4)	紙くず
排出量	17.5 t		0.1 t		
(今後実施する予定の取組)					
<ul style="list-style-type: none"><li>・継続して実施する</li></ul>					

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"><li>・汚泥・がれき類(コンクリート塊、アスファルト塊、その他がれき類)・金属くず・廃プラスチック類・木くず・紙くず・ガラス陶磁器くず(石膏ボード、その他)・混合廃棄物 8品目：11種類</li></ul>
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"><li>・継続して実施する</li></ul>

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】 (1)～(4)以外は別紙のとおり				
	産業廃棄物の種類	(1)	汚泥	(2)	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t		0 t	
② 計画	【目標】 (1)～(4)以外は別紙のとおり				
	産業廃棄物の種類	(1)	汚泥	(2)	廃アルカリ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t		0 t	
	産業廃棄物の種類	(3)	廃プラスチック類	(4)	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t		0 t	
(これまでに実施した取組) ・実施していない					
(今後実施する予定の取組) ・予定はないが、がれき類(コンクリート塊)が発生すれば、場内に移動式の破砕機を設置し、40mmアンダーに破砕し再生砕石等に利用する方法を検討する					

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】 (1)～(4)以外は別紙のとおり				
	産業廃棄物の種類	(1)	汚泥	(2)	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t		0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t		0 t	
② 計画	【目標】 (1)～(4)以外は別紙のとおり				
	産業廃棄物の種類	(1)	汚泥	(2)	廃アルカリ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t		0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t		0 t	
(これまでに実施した取組) ・実施していない					

## (第4面)

	産業廃棄物の種類	(3)	廃プラスチック類	(4)	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		0 t		0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0 t		0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし				

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】 (1)～(4)以外は別紙のとおり				
	産業廃棄物の種類	(1)	汚泥	(2)	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		0 t		0 t
	産業廃棄物の種類	(3)	廃プラスチック類	(4)	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		0 t		0 t
	(これまで実施した取組) ・実施していない				
② 計画	【目標】 (1)～(4)以外は別紙のとおり				
	産業廃棄物の種類	(1)	汚泥	(2)	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		0 t		0 t
	産業廃棄物の種類	(3)	廃プラスチック類	(4)	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		0 t		0 t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし				

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和元年度）実績】 (1)～(4)以外は別紙のとおり				
	産業廃棄物の種類	(1)	汚泥	(2)	廃アルカリ
	全処理委託量		2 t		0.7 t
	優良認定処理業者への処理委託量		0 t		0.7 t
	再生利用業者への処理委託量		2 t		0.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量		0 t		0 t

## (第5面)

	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t		0 t
	産業廃棄物の種類	(3)	廃プラスチック類	(4)	紙くず
	全処理委託量		34.9 t		0.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量		32.1 t		0.1 t
	再生利用業者への処理委託量		34.9 t		0.1 t
	認定熱回収業者への処理委託量		0 t		0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t		0 t
	(これまでに実施した取組) %処理委託現状取組%				
② 計画	【目標】		(1)～(4)以外は別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	(1)	汚泥	(2)	廃アルカリ
	全処理委託量		1 t		0.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量		0 t		0.4 t
	再生利用業者への処理委託量		1 t		0.4 t
	認定熱回収業者への処理委託量		0 t		0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t		0 t
	産業廃棄物の種類	(3)	廃プラスチック類	(4)	紙くず
	全処理委託量		17.5 t		0.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量		16.1 t		0.1 t
	再生利用業者への処理委託量		17.5 t		0.1 t
	認定熱回収業者への処理委託量		0 t		0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t		0 t
		(今後実施する予定の取組) %処理委託予定取組%			

収受印 ※		備考 ※		事業所番号 ※	
----------	--	---------	--	------------	--

※ 欄には何も記入しないこと

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量等が下記のものについて事業場ごとに1枚作成すること。
  - (1) 前年度の産業廃棄物総発生量が500トン以上の事業場
  - (2) 資本金が4千万円以上で建設業を営むもの
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（昭和46年政令第3号）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が5以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。



## 別添1 処理工程図

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

### 産業廃棄物の一連の処理の工程

汚泥	再生処理業者に委託して、再生砕石・再生路盤材として再資源化及び 中間処理後セメント会社に委託
廃プラスチック	再生処理業者に委託して、RPF原料として再資源化
紙くず	再生処理業者に委託して、再生紙として再資源化
木くず	再生処理業者に委託して、チップ(合板用・燃料用)として再資源化
金属くず	再生処理業者に委託して、中間処理後、製鋼原料として売却
ガラスくず及び 陶磁器くず	再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化
廃石膏ボード	再生処理業者に委託して、地盤改良材及び石膏ボード原料として再資源化
がれき類 アスコンがら	再生処理業者に委託して、再生砕石及び路盤材として再資源化
がれき類 コンがら	再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化
その他のがれき類	再生処理業者に委託して、再生路盤材として再資源化

## 別添2 管理体制図

### 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 管理体制図

統括責任者		支店長
支店	担当部署 (指導)	安全・環境部 安全・環境管理室
		建築部 安全・環境推進室
		土木部 安全・環境推進室
作業所	責任者	作業所長
	担当者	作業所長が指名

### 管理体制図

